

のスキーも最高である。

スキーを担いで1時間30分程下って広河原の駐車場着。本日の山行終了。

(記・

栗子山塊の沢

刈安川流域明神沢

1990年9月12日

I

天気晴。西栗子トンネル出口のすぐ脇の明神沢に入る。すぐに1m, 3m, 2mの小滝, 1mの斜瀑とゆるいナメが続き, 15分程で新助川との出合となる。ここからはゴーロ状となる。小滝や中州を過ぎ, 新助川出合から30分程で山梨沢出合である。山梨沢は下降に使うこととして, そのまま明神沢の遡行を続ける。

ナメと20m 3段の滝を越え, そのあとまた小滝を越えると, 伐採地となる。枯れた倒木などで歩きにくく, ヤブがひどくなる。ヤブこぎを少なくしようと, 地図上の踏跡を探すべく, 右岸のヤブに上がると, 反対側に踏跡が見える。戻って左岸の踏跡を進むと, 反射板まで山道が続いていた。反射板への登りの途中から, 山梨沢への下降に移るべく, 小休止してヤブこぎに入る。 (記・I)

[タイム] 西栗子トンネル(9:05)→新助川出合(9:15)→山梨沢出合(9:50)→遡行
終了(11:00)

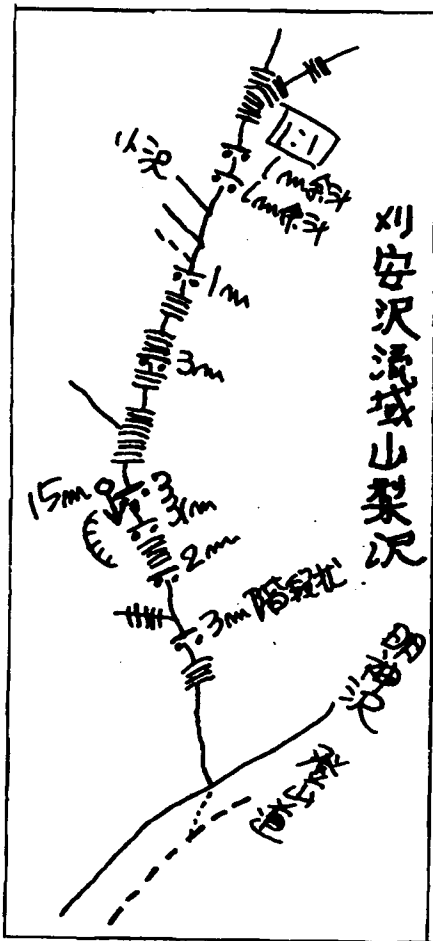
刈安川流域山梨沢

1990年9月12日

Li

20分程のヤブこぎで, 山梨沢の源頭に出る。ブナ林の下で昼食を食べてから下降開始。明神沢との出合のあたりで感じた, 狭く暗い沢というイメージとはまるで違って, 広々とした静かな沢だった。

最初はゴーロが続き, 3mの滝を下る頃よりナメとなる。15分程で, 思いがけ



ず15mの大滝に出会う。左側を懸垂下降する。私にとっては、沢で実践する初めての懸垂下降であった。そのあと小滝を3個下り、大滝から30分程で明神沢との出合となる。小休止してから、左岸の山道をたどって、国道に戻る。

(記)

[タイム] 下降開始(12:25)→大滝(13:20)→明神沢出合(13:50)

